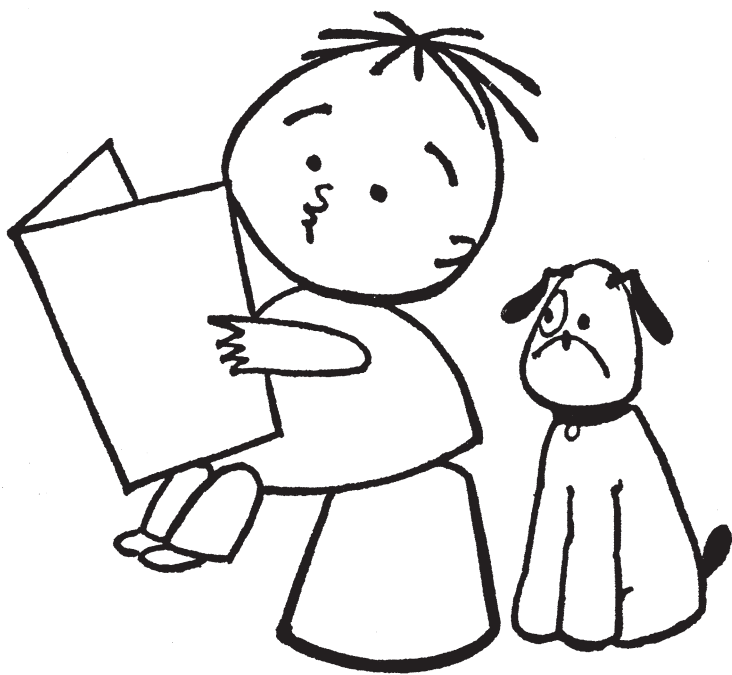


読んでごらん
おとしりいよ



2015

図書目録「読んでごらんおもしろいよ」2015(50号)をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

この目録を利用するために

1. 平成26年(2014年)に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これは**めやす**です。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は平成26年(2014年)12月現在のものです。

2015.7.1

(5) おかあさんだいすきだよ

みやにしたつや 作・絵

金の星社 24P 25×22cm 1,200円〔創作絵本〕

ぼくね、おかあさんだいすき。おかあさんは「はやくおきなさい」っていうけれど…。「ぐずぐずしないで」っていうけれど…。やさしくぎゅうってしてくれたりわらってくれたりしたら、ぼくね、もっとおかあさんのことだいすきだよ。

(6) かまきりとしましまあおむし

澤口たまみ 文 降矢なな 絵

農山漁村文化協会 32P 29×22cm 1,300円〔創作絵本〕

にんじんのはなは、むしたちのレストラン。かまきりにみつからないよう、しずかに。そこへじゅっぴきのあおむしがやってきた。めをつりあげておこるかまきりに、「おばさんだれ？」するといかまに、「かっこいい！」ほめられたかまきりは…。

(7) クリスティーナとおおきなほこ

パトリシア・リー・ゴーチ 作 ドリス・バーン 絵 おびかゆうこ 訳

偕成社 47P 27×20cm 1,300円〔創作絵本〕

とてもおおきなほこをてにいれたクリスティーナ。おしろをつくってあそんでいると、なかよしのファッツがやってきて、おしろはこわれた。ママがほこをかたづけにきたけれど、クリスティーナはいった。「これはおしろじゃなくてひみつきちよ」

(8) じゅんばんこ！

季巳明代 作 はせがわかこ 絵

フレーベル館 32P 27×21cm 1,200円〔創作絵本〕

ねんちょうになったさくらちゃんは、おかあさんに「ひとりでねるれんしゅうをする。」といった。おきにいりのぬいぐるみとまいにちじゅんばんにねているからへいき。ところがあるよる、おもちゃはこのぬいぐるみがさわぎだした。

(9) シロクマくつや

おおでゆかこ 作

偕成社 32P 29×21cm 1,300円〔創作絵本〕

くつやのシロクマかぞくはあたらしいいえをさがしていた。くつやにぴったりなくつのかたちのいえをみつけた。たちまちくつやはおおにぎわい。「だれがこのおうちをたてたのかな？」そのとき、ドスン！おみせがゆれた。ドアをあけると…。

(10) なーちゃんとおおかみ

多田ひろみ さく 柳生弦一郎 え
福音館書店 27P 20×27cm 800円〔創作絵本〕

ひとりでおふろにはいったなーちゃん。そこへおおかみがはいつてきて、なーちゃんをたべようととびかかった。ところがなーちゃんはあわだらけ。つるん！とすべってたべられない。そこでおおかみはおゆのかけっこをしようとするが…。

(11) のはらでまたね

はせがわさとみ 作
文溪堂 32P 27×22cm 1,500円〔創作絵本〕

ふゆのひ、たぬきにごくまからプレゼントがとどいた。「うんとさむいときにつかってね。」それはみどりいろのマフラーだった。でも、たぬきはマフラーをみるのがはじめて。「これ、どうやってつかうんだろう？」おなかにくるっとまいてみた。

(12) さわってごらん！ ふしぎなふしぎなまほうの^き木

クリスティ・マシソン 作 大友剛 訳
ひさかたチャイルド 37P 25×25cm 1,300円〔創作絵本〕

ここにいっぼんの^き木がある。この^き木にはふしぎなちからがやどっている。なにがおこるとおもう？木のえだにそっとさわってごらん。つぎはこすってあたためてあげて。こんどは^き木をゆらしてごらん。——すてきなものがたりがはじまるよ。

(13) ポッタとポッテ ランプのあかり

さとうまりこ さく
童心社 32P 27×20cm 1,450円〔創作絵本〕

りすのポッタとポッテはあかりをかいにランプやさんへ。でも、「あかりをきらしてしまっただけ」と、おみせばんのキリンはいう。あかりをとりにいくというモグラにこっそりついていくと、まちをでてもりへ…「ここって、おばけもり?!」

(14) ゆでたまごひめとみーとどろぼーる

荻田澄子 さく 山村浩二 え
教育画劇 32P 21×25cm 1,200円〔創作絵本〕

おべんとうばこのおしろにすむゆでたまごひめ。そこにさんにんぐみのどろぼう、みーとどろぼーるがおしろのたからものをぬすみにやってきた。あしあとをおいかけたゆでたまごひめは、さんにんのかくれがをみつけた。「かえしたもれ…。」

(15) よかったね、カモのおちびちゃん

エヴァ・ムーア ぶん ナンシー・カーペンター え いまえよしも やく
BL出版 32P 25×30cm 1,500円〔創作絵本〕

「ちゃあんについてくるんだよ」^{かあ}母さんガモのあとに^こ子ガモがつづく。ところが、^こ子ガモは次々^{つぎつぎはいすいこう}排水口へおちてしまった。「だれか！^{しょうぼう ひと}消防の人をよんでちょうだあい！」^{ひと}人があつまり、^{しょうぼうし}消防士がかけつけた。けれど、^{はいすいこう}排水口のふたがもちあがらない。

❖ 小学1・2年生から ❖ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

(16) あひるの手紙

^{てがみ}
朽木祥 作 ささめやゆき 絵
俊成出版社 64P 20cm 1,200円〔日本文学〕

ほんまち^{しょうがっこう}小学校にてがみがとどいた。たったひとこと「あひる」って。にぎやかにわらっているような3つの字。おぼえたてのげんきな字。かいたのはちかくにすむけんいちさんだ。1ねんせいのみんなも、おへんじをかくことにしたよ。

(17) うそ

中川ひろたか 作 ミロコマチコ 絵
金の星社 32P 25×22cm 1,300円〔絵本〕

38さいなのに、25さいだというおかあさん。うちのおとうさんはそうりだいじんだというあっちゃん。あれ、ぜったいうそだ。うそつきは、ドロボーのはじまりっていわれるけど、ひとをよろこばすうそもある。うそってなんだろう。

(18) オオサンショウウオ

福田幸広 しゃしん ゆうきえつこ ぶん
そうえん社 40P 22×28cm 1,400円〔オオサンショウウオ〕

ぼくは、オオサンショウウオ。ふだんは、なん日に1^ど度が、^{よる}夜になったらすこしだけ^{うご}動くんだ。^{しゅう}週に1^{さかな た}びき魚を食べられれば、それで^{じゅうぶん}十分だからね。そんなぼくが、^{げし}夏至のころ^{なが}長い^{なが}長い^{たび}旅に^で出る。1^{ねん}年に1^ど度の^{おおしごと}大仕事を^{ばしょ}する場所をめざして…。

(19) おじいちゃんとのやくそく

石津ちひろ 文 松成真理子 絵
光村教育図書 32P 28×22cm 1,300円〔絵本〕

のぞみは、ちいさなころから、おじいちゃんただいのなかよし。そのおじいちゃんがつぜんたおれ、天国へ…。かなしくてたまらないのぞみだが、ゆめのなかで、いつものやさしいおじいちゃんたであう。そして、あるやくそくをする。

(20) おつきさまはいちねんせい

きたやまようこ 文 アンдре・ダーハン 絵
講談社 24P 25×19cm 1,200円〔絵本〕

いちねんせいになったのがうれしくてたまらないおつきさま。ほんとうに「つき」なのに、「うそだー。」「おつきさまはよるのもの！」とみんなおおさわぎ。「いきたくないな…。」でも、おもいだした。「きょうはにちよくだ！いかなくちゃ！」

(21) からあげ

あおきひろえ 作・絵
アリス館 32P 27×22cm 1,400円〔絵本〕

クリスマスやのに、うちはかしわのからあげにサンタせんべい。あ～、なんでうちのおかあちゃんはあないにセンスないんや。たかしくんのママみたいなびじんでやさしいおかあちゃんがほしい。ぼくはサンタにおねがいすることにした。

(22) げんきのみかたパンツちゃん

薫くみこ 作 つちだのぶこ 絵
ポプラ社 58P 22cm 1,000円〔日本文学〕

おひるねからめをさますと、ママがいない。「うわーん。やだー。」さあちゃんはなきだした。そのとき、「あたしがげんきのみかた、パンツちゃんです。」ひっこしするときおともだちがいてくれた「え」のアルバムのなかから、こえがした。

(23) しゅくだいさかあがり

福田岩緒 作・絵
PHP研究所 77P 22cm 1,100円〔日本文学〕

「さかあがりのできない子は、夏休みのしゅくだいにする。」ぼくは、リフティングだって、とびばこだってできるのに。さかあがりのできない自分が、いやになった。くらくらした公園で、ぼくは大きく息をすいこんだ。やっぱりできない……。

(24) ちいさなワオキツネザルのおはなし

オフィーリア・レッドパス 作・絵 松波佐知子 訳
徳間書店 34P 24×28cm 1,600円〔絵本〕

おそろしいわるものからにげてきた、ワオキツネザルのこども。いごちのよさそうないえをみつけた。いえのなかがしずかになってから、たべものをさがした。しんぶんしのしたをあさったり、シルクハットのなかにもぐりこんだり…。

(25) ていでん★ちゅういほう

いとうみく 作 細川紹々 絵
文研出版 78P 22cm 1,200円〔日本文学〕

ゴロゴロ！バリバリバリ。ていでんだ。かいちゅうでんとうは電池切れ。くら
いところがだいきらいなねえちゃんのために、ぼくは電池を買いに家を出た。足
をガクガクさせながら、かいたんをおりていくと、黒いかげがうごいた。だれ？

(26) ともだちのまほう

北川チハル 作 つがねちかこ 絵
あかね書房 77P 22cm 1,000円〔日本文学〕

1ねんせいになって、ひめちゃんっていうともだちができた。いつもてをつないでいるから、わたしのはあったかい。でも、ひめちゃんは、たおくんとたのしそうにしゃべっている。「ひーめーちゃん！あ、そ、ぼ！」っていったのに…。

(27) はこぶ

鎌田歩 作・絵
教育画劇 32P 27×22cm 1,300円〔絵本〕

はこぶはこぶ。ひとでもものでもくるまでも。やまもたにも、はしをわたしてトンネルほってどんどんすすめ。はこべはこべ、とどけろとどけろ。そらのうえだって、うみのうえだって、うちゅうにだって、はこべはこべ。

(28) ベティ・バニー チョコレートケーキだーいすき

マイケル・B.カプラン 作 ステファン・ジョリッシュ 絵
小峯真紀 訳 中川典子 訳 増野綾希子 訳 宮本寿代 監訳
バベルプレス 32P 26×26cm 1,500円〔絵本〕

ベティはわからずやさんねってママがいう。そうなの、わたしはわからずやさん。たべたことのないものはなんでもいや。ママのつくったデザートだけれど、チョコレートケーキなんてだーいきらい。でも、チョコレートケーキってなあに？

(29) ベルナルさんのぼうし

いまいあやの作

BL出版 25P 30×21cm 1,500円〔絵本〕

くまのベルナルさんのおきにいりのぼうしに、キツツキがあなをあけてすみついた。しかも、ほかの鳥とりがくるとあたらしくあなをつくるので、やってくる鳥とりはふえるいっぽう。ふしぎなことに鳥とりがふえるたび、ぼうしもどんどん高たかくなっていく！

(30) やめろ、スカタン！

くすのきしげのり 作 羽尻利門 絵

小学館 32P 19×26cm 1,400円〔絵本〕

なつやすみ、プールでおつけのれんしゅうをするシンゴに、ほくらはふざけてみずをかけた。「やめろ、スカタン！」ほんきでおこったシンゴは、シャワーもあびずにそとへでた。ふりかえったシンゴはひとこと、「ぜったいに、ゆるさん！」

❖ 小学3・4年生から ❖ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

(31) あの日とおなじ空

安田夏菜 作 藤本四郎 絵

文研出版 127P 22cm 1,200円〔日本文学〕

ひいばあちゃんのいる沖繩おきなわに遊びに来たダイキ。海には色とりどりの魚がいるしお城しろもある。ガジュマルの木にはキジムナーというふしぎな魔物まものもいるらしい。でもね、70年前この島で戦争せんそうがあったんだって。ひいばあちゃんが語り始めたかた はじ。

(32) 青い空がつながった

毛利まさみち 作 うめだゆみ 絵

新日本出版 126P 21cm 1,400円〔日本文学〕

震災しんさいで宮城みやぎから広島へ引越こして1年たが経ち、4年生になった麻美まみ。『こどもの日』には、石巻いしのまきで仲が良かった亜衣あいと会える楽しみが待っている。ある日、麻美まみは下校途中とに捨て犬すを見つけ、飼かってくれる人を探すことになった。

(33) アヤカシさん

富安陽子 作 野見山響子 画
福音館書店 237P 21cm 1,400円〔日本文学〕

ケイガリピングから窓の通りをながめると、メイおばさんと、その後ろにピタリとくっついてくる白いひげのおじいさんの姿が見えた。なんだかおかしい。おじいさんは、まるで地面に足をつけず、空中をすべりながら移動しているみたいだ。

(34) 草と木で包む

U. G. サトー 文と絵 後藤九 写真 酒井道一 写真
福音館書店 39P 26×20cm 1,300円〔文化〕

端午の節句のおそなえものとして知られてきたちまき。ようかんやもちを笹の葉でくるみ、いくさでらせん状に巻いて結ぶ。このほかにも、桜や柏の葉で包まれた食べものなどが、いろいろある。祖先は、草木を使い、包む工夫をしてきた。

(35) コケシちゃん

佐藤まどか 作 木村いこ 絵
フレーベル館 151P 21cm 1,200円〔日本文学〕

4年1組にスイスから体験入学生がやってくる！「金髪かな？日本語通じるかな？」でも、やってきたのは、どう見ても日本人でコケシみたいな女の子。だけど、堂々としていて何でもはっきり言うコケシちゃんは、みんなと違いすぎる！

(36) 先生、しゅくだいわすれました

山本悦子 作 佐藤真紀子 絵
童心社 95P 22cm 1,100円〔日本文学〕

しゅくだいができなかったウソの言いわけを並べるほかに、「もっとばれない、聞いた相手が楽しくなるようなのじゃなくちゃ」と先生。「上手にウソがつけられしかられないってこと？」ぼくは考えた。そんなのちよろい。よーし、見てろよ。

(37) 手作り小路のなかまたち

新藤悦子 著 河村怜 絵
講談社 138P 22cm 1,200円〔日本文学〕

5けんのお店がならぶ手作り小路。カフェ「ビーンズ」の豆太郎の料理がおいしいのは、カウンターの上にいるスプーンに乗った人形タマムさんのおかげ。カード屋のひとり娘かなめちゃんがそれを食べていると、みんなが集まってくる。

(38) 動物のおじいさん、動物のおばあさん

高岡昌江 文 すがわらけいこ 絵
学研教育出版 143P 21cm 1,400円〔動物園〕

紳士^{しんし}でやさしいホッキョクグマのおじいさん、「ユキオさん」。人に注目^{ちゅうもく}されるのが好き^すだったラクダのおばあさん、「ツガルさん」…。生^おいたちも歩^{あゆ}んできた人生^{とし}もみんなちがう7頭の動物。山あり谷^{あひ}ありの人生^{あゆ}を歩^{あゆ}んできたんだらうなあ…。

(39) 飛べ！風のブーメラン

山口理 作 小松良佳 絵
あかね書房 157P 21cm 1,100円〔日本文学〕

おれは市ノ瀬^{いちのせかんた}幹太、4年生になったばかりだ。2年生のとき、利根川^{とねがわ}の土手でなぞの飛行^{ひこうぶたい}物体を見たのが、ブーメランとの出会いだった。大人たちがかっこよくブーメランを飛^とばす光景^{こうけい}に見とれ、「ほくも入れてください」って言葉が飛び出した。

(40) ヒートアイランドの虫たち

藤原幸一 写真・文
あかね書房 31P 28×22cm 1,300円〔環境〕

南から北上してきたクマゼミ、小型化^{こがたか}してきたカブトムシ、冬でも繁殖^{はんしょく}するナナホシテントウ…。都市^{とし}があたたかくなる「ヒートアイランド現象^{げんしょう}」のなか、虫たちは必死^{ひっし}に生きぬこうとしている。いま日本で何が起^おきているのだろうか。

(41) ふしぎなともだち

たじまゆきひこ 作
くもん出版 40P 26×26cm 1,500円〔絵本〕

転校^{てんこう}してきた島^{しま}の小学校で出会ったやっくんは、お話しするのががて。でも、やさしくしてもらおうとなんども「ありがとう。」を言う。なっている人がいれば、「はい、おしまい。」となくさめる。心がわかりあえる、ほくのふしぎなともだちだ。

(42) ペニーさんのサーカス

マリー・ホール・エッツ 作・絵 松岡享子 訳
徳間書店 62P 26×19cm 1,400円〔外国文学〕

たくさん動物とくらしているペニーさん。そこへ、クマとチンパンジーがサーカスからにげだしてきた。サーカスが休みの間だけ、ここでくらすことになった2ひきに動物たちは芸^{げい}を教^{おそ}わった。ひつじは輪^わくぐり、やぎはつなわたり…。

(47) いっしょにアンベ!

高森美由紀 作 ミロコマチコ 絵
フレーベル館 221P 20cm 1,400円〔日本文学〕

家に帰ると母ちゃんがめずらしくおやつを用意していた。しかも手作りプリン。いったい何があったのだ。「ノボルに大事なことを伝えなくちゃならないの。」
だいしんさい こじ あす
大震災で孤児になった子を預かるって? 「いやだよ、そんなやつがくるなんて。」

(48) 影なし山のりん

宇佐美敬子 作 佐竹美保 絵
学研教育出版 161P 20cm 1,300円〔日本文学〕

かげ たましい やど いずみ ばん
影なし山にある神様の魂が宿る美しい泉は、10年前の月祭りの晩、ひとりの女を
のみこんで以来、「ばけもの沼」と呼ばれている。ある日、おとむすめ
大震災で孤児になった子を預かるって? 「いやだよ、そんなやつがくるなんて。」

(49) 声の出ないぼくとマリさんの一週間

松本聰美 作 渡邊智子 絵
汐文社 157P 20cm 1,400円〔日本文学〕

学校に行けなくなった5年生のぼく。ママが仕事でいない1週間、初めて会うママの友達のマリさんと過ごすことに。駅で「シンちゃんでしょ」の声にふり向きギョツとした。はでなブラウス、重そうなまつげ、鼻の下には黒いひげ? オトコ?

(50) 言葉屋 言箱と言珠のひみつ

ことばこ ことだま
久米絵美里 作 もとやまさこ 絵
朝日学生新聞社 205P 22cm 1,000円〔日本文学〕

えいこ
詠子は5年生になって仲よくなった友だちへのプレゼントを、おばあちゃんのお店、雑貨屋「ことむら」で選んだ。お客さんが置いた小箱を見る詠子に言う。「これね、中にコトバコが入っているの」。どうやら今日は本業のお客さんらしい。

(51) 5年2組横山雷太、児童会長に立候補します!

よこやまらいた りっこうほ
いとうみく 作 鈴木びんこ 絵
そうえん社 237P 20cm 1,100円〔日本文学〕

おれはおなじ組の4人で「なんでも屋」をはじめた。学校へ忘れものをとりに
いったり、うわばき洗いや犬の散歩をかわってやったり…。ある日「児童会長選
しんどう いらい
に出てみない?」と、6年の新藤君にいわれた。でもこの依頼はどー考えてもムリ。

(52) 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

ムヒカ 述 くさばよしみ 編 中川学 絵
汐文社 32P 25×22cm 1,600円〔人間の生き方〕

ブラジルで開かれた国際会議。南米の小国ウルグアイのムヒカ大統領の演説に
会場の人たちはそれほど関心をいだいていなかった。質素な背広にネクタイなし
のシャツすがた。しかし、演説が終わったとき、大きな拍手がわきおこった。

(53) 鳥海山の空の上から

三輪裕子 作 佐藤真紀子 絵
小峰書店 218P 20cm 1,500円〔日本文学〕

翔太の身にとんでもないことがふりかかったのは、5年生の夏休み。会ったこ
ともないおじいちゃんの姉の波江さんに預けられることになったのだ。東京から秋
田の田舎まで、たった1人で寝台特急や列車を乗りついで行かなければならない。

(54) トイレをつくる未来をつくる

会田法行 写真・文
ポプラ社 41P 27×22cm 1,500円〔衛生〕

東ティモールは、2002年に独立したうまれたての国だ。マヌタシ村の人たちが
せっせと穴を掘っている。穴のまわりに柱もたてると、小屋ができあがった。「この
小屋はなんですか?」「トイレだよ。」村人は、ほこらし気に教えてくれた。

(55) 時のむこうに いま、ここにいる

山口理 作 最上さちこ 絵
偕成社 283P 20cm 1,600円〔日本文学〕

おれは田所翔太。歴史マニアの5年生。塾ではみんなが敵。いやな時代に生ま
れちゃったもんだ。ばあちゃんが話してくれる昭和の時代に生まれていたらなあ。
塾バスの中でぼんやりしていたら、強烈な緑色の光が横に走った。な、なんだ!?

(56) どろぼうのどろぼん

斉藤倫 著 牡丹靖佳 画
福音館書店 277P 20cm 1,500円〔日本文学〕

そこが家だったらどこへだって入れますよって、どろぼうのどろぼんは言った。
刑事であるぼくの取り調べの中で、どろぼんのふしぎな生い立ちと手口が明らかにな
っていく。彼には持ち主さえ忘れてしまっている物の声が聞こえるというのだ。

(57) なみだの穴^{あな}

まはら三桃 作
小峰書店 177P 20cm 1,400円〔日本文学〕

父さんの^{てんきん}転勤で、転校することになった^{こうた}光太。友達^{ゆうと}の優斗ともお別れた。悲しみをこらえて乗った船から海面におかしなものを見つけた。白く光り高い音がして、海に穴^{あな}が開いたのだ。そのとたん、^{こうた}光太の両目からなみだがほとぼり出た。

(58) ブルーとオレンジ

福田隆浩 著
講談社 223p 20cm 1,300円〔日本文学〕

ぼくの^よ呼び名は、ブルー。5年1組になった始業式の日、教室にはいった瞬間^{しゅんかん}にピンときた。これは本当にまずいぞって。^{あん}案の定、^{じょう}遠足のグループ決めで仲間はずれになった。^{ひらまつ}平松くんが入れてくれて、仲間ができたと思ったけれど…。

(59) 槍ヶ岳山頂^{やりがたけ}

川端誠 作
BL出版 40P 26×26m 1,600円〔登山〕

ぼくと父さんは、^{つばくろだけ}燕岳の登山口についた。見晴らしがわるく、^{ばい}こう配のきついジグザグ道が^{つばくろだけ}つづく。燕岳の山小屋についたとたん^{てんぼう}展望がひらけ、見わたす山々のおくに^{やりがたけ}槍ヶ岳が^{よくしつ}そびえている。翌日、^{らいこう}ご来光を見て、さあ、^{やりがたけ}槍ヶ岳めざして出発だ。

(60) わたしの心のなか

シャロン・M. ドレイパー 作 横山和江 訳
鈴木出版 333P 20cm 1,600円〔外国文学〕

わたしは11^{さい}歳になるけれど、話すことも自分でごはんを食べることもできない。でもたくさん^さの言葉を知っている。みんなのようにおしゃべりできたらいいのに、ママに大好きって言えたらいいのに…。ある日、ローズのパソコンを見て思いついた。

(66) ガマ 遺品たちが物語る沖縄戦

豊田正義 著

講談社 189P 20cm 1,300円〔沖縄・太平洋戦争〕

1945年3月、アメリカ軍が沖縄に上陸し、地上戦が始まった。激しい戦闘の中、ガマに立てこもった島民と日本兵を待っていた苛酷な運命とは。戦後約70年が経ち、ガマから発掘された数々の遺品は、持ち主の姿を静かに語り始める。

(67) カンボジアの大地に生きて

ミンフォン・ホー 著 もりうちすみこ 訳

さ・え・ら書房 255P 20cm 1,500円〔外国文学〕

兄さんは変わってしまった。兵士になりたいだなんて。「村にもどって、田畑に種を蒔こう。みんなでやりなおすんだ。」と力強く語っていたのに。自分の思いを声に出せない少女ダラを後押ししたのは、親友ジャントゥと魔法の玉だった。

(68) 時速47メートルの疾走

吉野万理子 著

講談社 253P 20cm 1,400円〔日本文学〕

こんなはずじゃなかったんだ！受験が大変だから部長は山本に任せただけ、放送部をまとめて仕切ってきたのはオレだ。それなのにオレが反対した全国放送コンクールに皆で応募するなんて。しかも、オレが外されるなんて。

(69) 戦場のオレンジ

エリザベス・レアード 作 石谷尚子 訳

評論社 124P 20cm 1,300円〔外国文学〕

内戦下のペイルートで、2人の幼い弟と祖母と暮らす10歳のアイーシャ。しかし、頼みの綱の祖母が寝込んでしまった。薬はもうない。彼女は、銃を持つ兵士の立つ境界線を越えて、ライラ先生に薬をもらいにいくことを決意した。

(70) 空へ

いとうみく 作

小峰書店 221P 20cm 1,500円〔日本文学〕

オレ、陽介。1年前にとうちゃんが亡くなってから、かあちゃんと妹と3人暮らし。オレがとうちゃんの代わりに2人を守るんだ。だから、大好きなサッカーもやめたのに。2人はオレを置いてきぼりにどんどん前向きになっていくんだ。

(71) ダッシュ！

村上しいこ 著

講談社 253P 20cm 1,400円〔日本文学〕

みなみさわ

南沢中陸上部はセンパイたちの話し合いで次期キャプテンが決まる。そして、なぜか1番足の遅いわたしが指名された。部員は個性派ぞろいでまとまらないし、リレーメンバーは1年生にとられそうだし。一体どうすればいいの？

(72) 風味◎(さんじゅうまる)

まはら三桃 著

講談社 240P 20cm 1,400円〔日本文学〕

「ショーウィンドーは店の顔やきね」女子中学生、伊藤^{ふうみ}風味の朝はお店のガラスふきから始まる。祖母と父が営む「一斗^{いっとうあん}餡」は、SS-1コンテストに出場することに。勝負のお菓子は、カステラ^{あんこ}良し・餡子^{くらみつ}良し・黒蜜良しの「風味◎(さんじゅうまる)」！

(73) ブロード街の12日間

デボラ・ホプキンソン 著 千葉茂樹 訳

あすなろ書房 295P 20cm 1,500円〔外国文学〕

「青い恐怖」がやってきた！1854年、ロンドンのブロード街で発生したコレラはまたたく間に広がり、逃げ出す人々で街は大混乱に。少年イールはスノウ博士とともに、感染の拡大をくい止めようと奔走する。コレラ大発生の真相は――。

(74) 文学少年と運命の書

渡辺仙州 作

ポプラ社 295P 20cm 1,400円〔日本文学〕

^{みん}明の時代、商人の父とともに馬車に乗る少年^{しょうおん}承恩は、片時も書物を離さない。宿での食事中、指をくわえてじっとこちらを見る少女に「好きな料理をとっていいよ」と声をかけると、なんと、少女は読みかけの書を取って逃げ出したのだ。

(75) ユキとヨンホ ^{はくじ}白磁にみせられて

中川なをみ 作 舟橋全二 絵

新日本出版社 189P 20cm 1,500円〔日本文学〕

^す透けるように美しい^{はくじ}白磁を作る――それが、ユキの夢。物を通して作り手の思いや文化を運びたい。美しい物に心ひかれる彼女は、朝鮮からきた少年ヨンホと出会い、陶工たちとも心を通わせながら、^{はくじ}白磁作りの道を少しずつ切り開いていく。

選 定 委 員

江 上 道 子	(越木岩幼稚園)
織 田 悦 子	(生瀬幼稚園)
小河内 めぐみ	(高須西幼稚園)
澤 雅 恵	(名塩幼稚園)
橋 野 悦 理	(春風幼稚園)
木 村 晶 子	(段上西小学校)
小 林 陽 子	(鳴尾小学校)
小 丸 麻 里	(安井小学校)
里 見 悦 子	(香櫨園小学校)
塩 野 恵 子	(北夙川小学校)
重 田 景 子	(安井小学校)
田 中 恭 子	(夙川小学校)
馬 場 映 子	(元・東山台小学校)
福 原 優 子	(元・甲陽園小学校)
榎 尾 恵 里	(東山台小学校)
増 田 千 勢	(津門小学校)
上 田 綾 子	(今津中学校)
桑 原 美 和	(上ヶ原中学校)
高 品 英 子	(元・真砂中学校)
高 田 直 子	(浜脇中学校)
谷 本 祥 江	(浜脇中学校)
榎 岡 みゆき	(瓦木中学校)
若 松 千 春	(上甲子園中学校)
天 田 良 子	(中央図書館)
堀 田 かよこ	(中央図書館)
西 尾 美 和	(中央図書館)

